

展覧会スケジュール

戸栗美術館は1987年、渋谷区松濤に開館しました。当館創設者戸栗亨が収集した東洋陶磁器を中心とする美術品の永久的な保存および公開を通じた、後世への文化遺産の伝承を目的として活動しています。主な所蔵品は、江戸時代に佐賀・有田にて日本初の国産磁器として誕生した伊万里焼、その技術を応用して徳川将軍家への献上品として創出された鍋島焼、そして、中国および朝鮮半島の陶磁器など。中でも江戸時代の伊万里焼の展開を通観できる体系的・網羅的な内容が特長です。年に4回の企画展を収蔵品主体で構成しています。



色絵 花鳥人物文 蓋付六角壺
伊万里（柿右衛門様式）
江戸時代（17世紀後半）
通高31.4cm

「柿右衛門」の五色ごしき —古伊万里からマイセン、近現代まで—

2023年4月8日（土）～6月25日（日）

濁手素地に赤・青・緑・黄・金を基本に彩色した柿右衛門様式の伊万里焼は国内外で人気を博しました。
今展では素地や絵具の色に注目して、江戸時代と近現代の「柿右衛門」作品約80点を陳列いたします。



青磁染付 樹鳥文 葉形三足皿
伊万里
江戸時代（17世紀後半）
口径28.0cm

古伊万里の「あを」 —染付・瑠璃・青磁—

2023年7月7日（金）～9月24日（日）

「あを」とは白と黒の間の広い範囲の色を指し、主として青・緑・藍を言います。
古伊万里の「あを」に注目し、染付の青や上絵具の青や緑、瑠璃釉、青磁釉の作品を展示いたします。



青磁瑠璃錦絞軸 竹虎文 三足皿
伊万里
江戸時代（17世紀中期）
口径23.8cm

伊万里・鍋島の 凸凹文様

2023年10月6日（金）～12月21日（木）

伊万里焼や鍋島焼には絵付け以外にも線彫りや型による浮き文様、透かし彫りなど様々な装飾技法が用いられています。一見気付きにくい、しかし繊細な凸凹文様の作品約80点をご堪能ください。



色絵 花鳥文 輪花皿
伊万里（古九谷様式）
江戸時代（17世紀中期）
口径20.4cm

花鳥風月 —古伊万里の文様—

2024年1月7日（日）～3月21日（木）

「花鳥風月」とは、自然の美しい風物あるいは風雅な趣を楽しむ風流な行いを意味します。
今展では古伊万里約80点のうち花、鳥、風景、月を描いた作品をご紹介いたします。

開館時間：10時00分～17時00分 金曜日・土曜日は10時00分～20時00分（入館は閉館30分前まで）

休館日：月曜日・火曜日（祝日の場合は開館し、両日とも祝日の場合は翌平日休館）、展示替え期間

- ご来館の前に必ず当館ホームページにて最新情報をご確認ください。●マスク着用やご入館時の検温、手指消毒にご協力を願いいたします。
●会期や開館時間等は予告なく変更となる場合がございます。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力を願いする場合がございます。

当館ホームページ

@toguri_museum

